

◎ 一部査証及び査証料の相互免除に関する日本国政府と
ホンデュラス共和国政府との間の取極（口上書）

（略称）ホンデュラスとの査証及び査証料免除取極

昭和四十九年 五月 二日 テグシガルバで
昭和四十九年 六月 一日 効力発生
昭和四十九年 六月 二十七日 告示

（外務省告示第一二〇号）

目次	ページ
日本側口上書	二〇三
(1) 査証免除	二〇三
(2) 滞在期間の延長	二〇三
(3) 査証免除の除外	二〇三
(4) 査証料免除	二〇四
(5) 国内法令の遵守	二〇四

ホンデュラスとの査証及び査証料免除取極

ホンデュラスとの査証及び査証料免除取極

(6)	入国又は滞在の拒否	二〇四
(7)	終了の通告	二〇四
	ホンデュラス側口上書	二〇五
(1)	査証免除	二〇五
(2)	滞在期間の延長	二〇五
(3)	査証免除の除外	二〇五
(4)	査証料免除	二〇六
(5)	国内法令の遵守	二〇六
(6)	入国又は滞在の拒否	二〇六
(7)	終了の通告	二〇六

(在ホンデュラス日本国大使館よりホンデュラス外務省あ
ての口上書)

口 上 書

日本側口
上書

日本国大使館は、外務省に敬意を表するとともに、日本国政府が、日本国とホンデュラス共和国との間の旅行並びに文化及び通商に関する関係を促進するために、日本国に入国することを希望するホンデュラス国民に対する査証及び査証料の免除に
関し、千九百七十四年六月一日から相互主義に基づき次の措置をとる用意を有することを同省に通報する光榮を有する。

査証免除

(1) 有効なホンデュラス旅券を所持するホンデュラス国民であつて、継続して三箇月を超えない期間滞在する意図をもつて日本国に入国することを希望するものは、査証を取得することなく、日本国に入国することができる。

滞在期間
の延長

(2) 日本国政府は、(1)の規定に基づいて査証なしに日本国に入国したホンデュラス国民であつて、滞在期間を三箇月を超えて延長することを希望するものの滞在期間の延長を許可することができらる。

査証免除
の除外

(3) (1)の規定に基づく査証の要件の免除は、ホンデュラス国民であつて、就職し、永住し、自由職業若しくは他の生業を営み、報酬を得る目的で芸能(スポーツを含む。)に従事し、又は継続して三箇月を超える期間滞在する意図をもつて日本国に入国することを希望するものについては、適用しない。

ホンデュラスとの査証及び査証料免除取極

Translation

NOTE VERBALE

The Embassy of Japan presents its compliments to the Ministry of Foreign Affairs and has the honour to inform the Ministry that the Government of Japan, with a view to facilitating travel as well as cultural and commercial relations between Japan and the Republic of Honduras, is prepared to take on a reciprocal basis the following measures from the 1st of June, 1974 concerning the waiving of visas and visa fees for Honduran nationals wishing to enter Japan:

(1) Honduran nationals in possession of a valid Honduran passport who wish to enter Japan with the intention of staying there for a period not exceeding three consecutive months may enter Japan without obtaining a visa.

(2) The Government of Japan may grant extensions of the period of stay to Honduran nationals who, having entered Japan without a visa under paragraph (1) above, desire to extend the period of stay beyond three months.

(3) The waiver of the visa requirement under paragraph (1) above shall not apply to Honduran nationals who desire to enter Japan with the intention of seeking employment or permanent residence, of exercising a profession or other occupation or of engaging in public entertainment (including sport) for remunerative purposes or with the intention

査証料免
除

(4) 査証が必要とされ、かつ、付与されるときは、日本国の権限のある外交及び領事当局は、その査証についていかなる手数料をも徴収しない。

国内法令
の遵守

(5) (1)の規定に基づく査証の要件の免除は、日本国に入国するホンデュラス国民に対し、外国人に関する入国、滞在、居住、出国及びその他の事項に関する日本国の法令に服することを免除するものではない。

入国又は
滞在の拒
否

(6) 日本国政府は、好ましくないと認めるホンデュラス国民に対し、日本国に入国し又は滞在することを拒否する権利を留保する。

終了の通
告

(7) 日本国政府は、書面による二箇月の予告をもつて前記の諸規定を終了させることができる。
千九百七十四年五月二日にテグシガルパで

of staying there for a period exceeding three consecutive months.

(4) For visas, when required and granted, the competent Japanese diplomatic and consular authorities will not charge any fees.

(5) The waiver of the visa requirement under paragraph (1) above does not exempt Honduran nationals entering Japan from the necessity of complying with the Japanese laws and regulations concerning the entry, stay, residence, exit and other matters relating to aliens.

(6) The Government of Japan reserves the right to refuse the entry into or stay in Japan to Honduran nationals considered undesirable.

(7) The Government of Japan may terminate the foregoing by giving two months' written notice.

Tegucigalpa D.C., 2nd of May, 1974.

(ホンデュラス外務省より在ホンデュラス日本国大使館あ
ての口上書)

(訳文)

口上書

外務省は、日本国大使館に敬意を表するとともに、ホンデュラス共和国政府が、ホンデュラス共和国と日本国との間の旅行並びに文化及び通商に関する関係を促進するために、ホンデュラス共和国に入国することを希望する日本国民に対する査証及び査証料の免除に関し、千九百七十四年六月一日から相互主義に基づき次の措置をとる用意を有することを同大使館に通報する光栄を有する。

(1) 有効な日本国旅券を所持する日本国民であつて、継続して三箇月を超えない期間滞在する意図をもつてホンデュラス共和国に入国することを希望するものは、査証を取得することなく、ホンデュラス共和国に入国することができる。

(2) ホンデュラス共和国政府は、(1)の規定に基づいて査証なしにホンデュラス共和国に入国した日本国民であつて、滞在期間を三箇月を超えて延長することを希望するものの滞在期間の延長を許可することができる。

(3) (1)の規定に基づく査証の要件の免除は、日本国民であつて就職し、永住し、自由職業若しくは他の生業を営み、報酬を

ホンデュラスとの査証及び査証料免除取極

NOTA VERBAL

El Ministerio de Relaciones Exteriores presenta sus atentos saludos a la Honorable Embajada del Japon y tiene el honor de informarle que el Gobierno de la Republica de Honduras, con el proposito de facilitar los viajes, asi como las relaciones culturales y comerciales entre las Republicas de Honduras y el Japon, está dispuesto a adoptar, sobre la base de reciprocidad, las siguientes medidas, a partir del 1 de Junio de 1974, relativas a la supresión de visas y derechos de visa para los nacionales japoneses que deseen entrar en la Republica de Honduras:

(1) Los nacionales japoneses, en posesión de un pasaporte válido japonés, que deseen entrar en la Republica de Honduras con la intención de permanecer en ella por un período que no exceda de tres meses consecutivos, podrán entrar en la Republica de Honduras sin obtener una visa.

(2) El Gobierno de la Republica de Honduras podrá conceder prórroga del período de permanencia a los nacionales japoneses que, habiendo entrado en la Republica de Honduras sin visa de acuerdo con el párrafo (1) anterior, deseen extender el período de su permanencia por mas de tres meses.

(3) La supresión del requisito de visa conforme al párrafo (1) no se aplicará a los nacionales japoneses que deseen entrar en

得る目的で芸能（スポーツを含む。）に従事し、又は継続して三箇月を超える期間滞在する意図をもつてホンデュラス共和国に入国することを希望するものについては、適用しない。

(4) 査証が必要とされ、かつ、付与されるときは、ホンデュラスの権限のある外交及び領事当局は、その査証についていかなる手数料をも徴収しない。

(5) (1)の規定に基づく査証の要件の免除は、ホンデュラス共和国に入国する日本国民に対し、外国人に関する入国、滞在、居住出国及びその他の事項に関するホンデュラスの法令に服することを免除するものではない。

入国又は滞在の拒否
終了的の通

(6) ホンデュラス共和国政府は、好ましくないと認める日本国民に対し、ホンデュラス共和国に入国し又は滞在することを拒否する権利を留保する。

(7) ホンデュラス共和国政府は、書面による二箇月の予告をもつて前記の諸規定を終了させることができる。
千九百七十四年五月二日にテグシガルパで

la República de Honduras con la intención de buscar empleo o residencia permanente, o ejercer una profesión u otra ocupación o de participar en un espectáculo público (incluyendo deportes) con fines lucrativos o con la intención de permanecer en la misma por un período que exceda de tres meses consecutivos.

(4) Las autoridades diplomáticas y consulares hondureñas competentes no cobrarán ningún derecho por visas, cuando éstas sean requeridas y concedidas.

(5) La supresión del requisito de visa de acuerdo con el párrafo (1) arriba citado, no exime a los nacionales japoneses que entren en la República de Honduras de la necesidad de cumplir con las leyes y reglamentos hondureños concernientes a la entrada, permanencia, residencia, salida y otros asuntos relacionados con los extranjeros.

(6) El Gobierno de la República de Honduras se reserva el derecho de denegar la entrada o permanencia en la República de Honduras a los nacionales japoneses que sean considerados indeseables.

(7) El Gobierno de la República de Honduras puede dar por terminado lo que antecede, notificándolo, por escrito con dos meses de anticipación.

Tegucigalpa, D.C., 2 de Mayo de 1974.

(参 考)

この取極は、日本国とホンデュラス共和国との間で一九七四年六月一日から相互主義に基づき一部査証及び査証料の免除を行うことを定めたものである。